

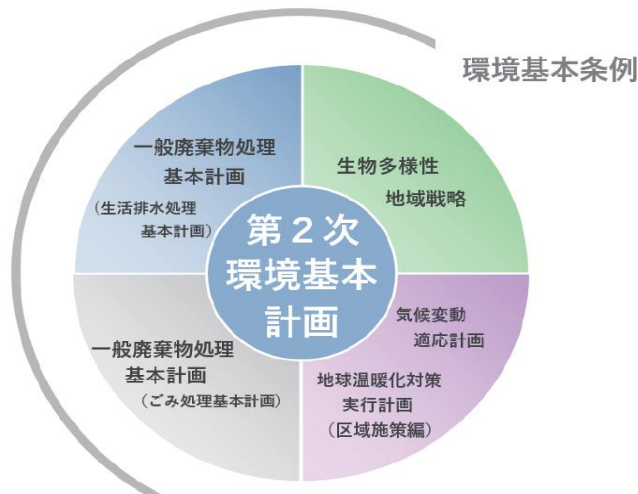
# 第2次亀山市環境基本計画に関する実績等報告書(令和6年度)

( 産業環境部 環境課 )

## ■計画の基本情報

計画期間	R 3 ~ R 12 年度
位置付け	本計画は、亀山市環境基本条例第8条第1項の規定に基づき市町村計画として策定したものであり、本市の環境分野における基本計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画後期基本計画との関連は、基本施策「脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環社会の構築」と深く関わるものである。
目的・概要	本市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の健康で安全かつ快適な生活の確保と福祉の向上に寄与することを目的とする。 本市が目指す10年後の環境の姿として「みんなの笑顔かがやく環境のまち 健都 かめやま」を掲げ、5つの基本施策や4つのプロジェクトにより具現化を図る。

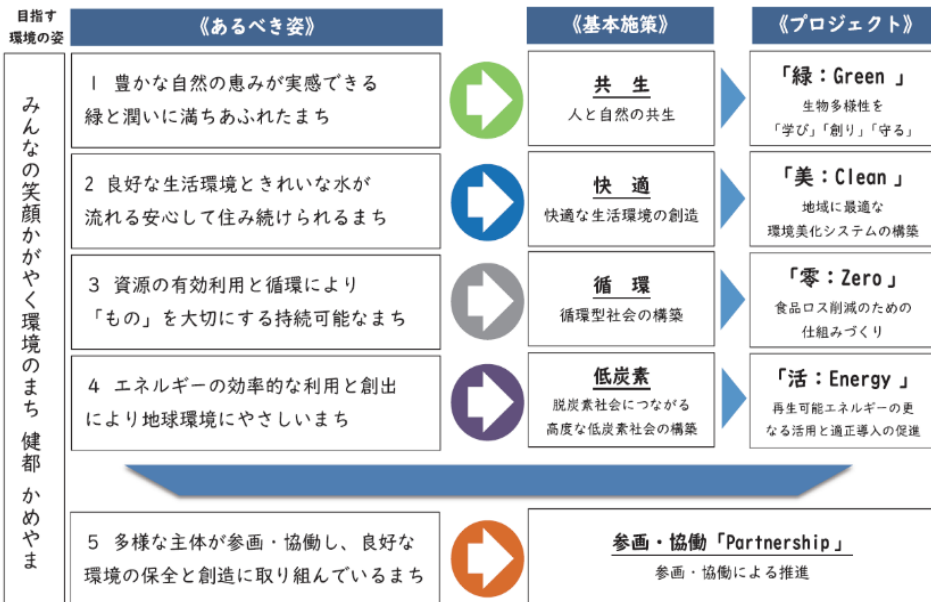
## 計画の骨格



第2次亀山市総合計画の将来都市像

歴史・ひと・自然が心地よい

緑の健都 かめやま



## ■ 成果指標

	成果指標名	単位	現状値	実績値 (R6)	目標値
1	<b>別紙参照</b>				
2					

## ■ 計画の実績等

取組実績	<p>市民に自然と触れ合う機会や学習する機会を提供するため、里山塾、ザリガニ釣り大会、亀山7座トレイル(登山講座)等のイベントを開催した。かめやま生物多様性共生区域認定制度において区域を認定したことで生物多様性が保全された。市内の主要事業所、河川、ため池において、水質検査、騒音・振動測定に加え、鈴鹿川2ヶ所、広瀬川1ヶ所の3地点にて、PFOS、PFOAの水質検査を行うとともに、公共下水道事業の推進により、生活排水処理施設の整備を行った。生ごみ処理容器及び食品ロス削減マッチングアプリ「かめやまタバスケ」の利用促進、不用品買取価格サイト運営事業者との連携など、4Rの普及、啓発に取り組んだ。地球温暖化防止につながる『緑のカーテン運動』に取り組むため、ゴーヤのポット苗を市民及び公共施設の管理者に配布した。当該計画の推進を図るにあたり、市民、事業者及び関係団体等から幅広い意見を反映するため、環境未来創造会議及び基本施策ごとの部会を開催した。</p>
成果	<p>自然環境に関するイベントを開催したことにより、生物多様性に関する周知・啓発に貢献できた。申請のあった3件をかめやま生物多様性共生区域に認定したことで生物多様性の保全につながった。新たに市内に立地した事業所などと環境保全協定を締結するとともに、市内の主要事業所、河川、ため池において、水質検査、騒音・振動測定を行ない監視することにより鈴鹿川の良好な水質が維持できた。生活排水処理率は、公共下水道事業井田川・能褒野処理分区及び本町南部処理分区、亀山東部処理分区、野村処理分区の4処理分区への接続増加により、微増した。ごみ減量化などの取り組みにより1人1日あたりのごみ排出量は前年度から大きく減少した。一方、リサイクル率は前年度と比較して1ポイント低下した。そして、第2次市環境基本計画を推進するための会議及び部会を開催したことにより、当該計画の推進体制が確立できた。</p>
総合計画 推進への 寄与度	<p>里山管理運営協議会等と連携し、自然公園を活用して市民に自然と触れ合う機会等の提供を行ったことで自然との関りを深めることができた。生物多様性共生区域認定制度において3件を認定し、計10件(約48ha)の区域が生物多様性の保全につながった。1人1日あたりのごみ排出量は861gと令和12年度の目標値880gを下回った。リサイクル率は26.3%と前年を下回ったが、ごみ減量、再利用、再生利用の取り組みを行ったことで総合計画推進に寄与することができた。</p>

反省点・課題	<p>自然環境イベントや環境に関する講座等、自然と触れ合う場を引き続き提供し、自然と触れ合い、理解を深めていく必要があることと生物多様性を守る認定区域の増加する必要がある。更なるごみ排出量削減、4Rの推進のための取り組みが必要である。</p>
--------	---

今後の方向性	<p>環境イベントや講座への参加人数の増加を図るための周知・啓発に努める。また、幼稚園、保育園や学校等に環境関連イベントへの参加を呼び掛ける。生物多様性共生区域認定制度により、生物多様性の保全のため認定区域の増加を図る。更なるごみ排出量の削減、4Rの推進には、排出者の意識の変化が重要であることから、多様な視点や発想、ごみダイエツトサポーターとの連携による新たな取り組みの検討を行うとともに一般廃棄物処理基本計画の施策に着実に取り組む。</p>
--------	--

## ■成果指標

現状値及び目標値 … 第2次亀山市環境基本計画(2021～2030) 各基本施策成果指標参照

成果指標名		単位	現状値	実績値 (令和6年度)	目標値
1	自然環境に関するイベント等に参加した人数等	人	8,563	7,161	9,500
2	外来生物の駆除に取り組む市民活動団体数	団体	3	2	8
3	間伐面積(平均)	ha	183	146.78	200
4	環境美化ボランティア登録団体数	団体	31	36	40
5	環境保全協定の締結数	件	77	92	100
6	生活排水処理率	%	81.4	83.9	92.1
7	1人1日あたりのごみ排出量	g/人・日	943	861	880
8	ごみの資源化率	%	30.8	26.3	38.0
9	溶融飛灰の資源化率	%	100	100	100
10	市域における二酸化炭素排出量	(千t-CO2)	1,322	1,270 (令和5年度)	1,156
11	再生可能エネルギー発電施設の導入件数	件	2,662	3,308 (令和5年度)	3,500
12	環境に関する講座等への参加人数	人	3,184	2,091	3,500
13	環境関連分野において連携・協働による取組を行っている団体(組織)数	団体(組織)	13	21	20